

madame

FIGARO

japon

2020
30th
ANNIVERSARY

novembre 2019

N°521

特別定価

本体 741yen+税

11

イ
タ
リ
ア
旅
。
あ
わ
せ
に
な
る

ワインと映画と、
稲垣吾郎。

ビューティ、欲しいのは新時代の色気。

ディオール/ファインジュエリー/グッチ/セリーヌ
ボッテガ・ヴェネタ/ティファニー/ドルチェ&ガッバーナ
フェンディ/トッズ/バーバリー

綴じ込み付録

大丸心斎橋店を100%楽しむ!
A-Zパーフェクトディクショナリー

「200年以上前のオイルランプを電気スタンドに作り替えたそう」(塩見)。本体900ユーロ、シェード200ユーロ



「ダミジャーナと呼ばれる大きな瓶。緑色がとてもきれいです」(塩見)。ワインを保存するためのボトル100ユーロ



1900年代初め頃のナポリ産タイル。さまざまな絵柄ごとに何十枚、何百枚単位のストックを誇る。1枚30ユーロ



「背もたれを手前に回転させると脚立になる仕掛けがユニーク」(塩見)。1930年代頃の白い椅子350ユーロ



1800年代初頭の教会の木製キャンドルスタンド。「ペイントの剥げ具合もいいですね」(塩見)。ペアで400ユーロ



穏やかな表情が美しいマリア像。1800年代初頭のもので、顔はテラコッタ、胴の部分は木製。1,200ユーロ

Riccardo Barthel ▶map P125 ④
Via dei Serragli 234/R, 50124 Firenze
☎055-2280721 営業9時～13時、15時～19時(月～金)
10時～13時、14時～19時(土)
☎日、祝、5月～9月の土曜
カード: ④、⑤ www.riccardobarthel.it

1. 大きいものや高級なものばかりでなく、台所用品や小さなヴィンテージのパーツも見つけられる。
2. 年代にこだわらず、ありとあらゆる古いものを取り扱う。理想の家作りの参考になりそうな店内。
3. シルバーのカトラリーもインテリアの一部に。



床から壁、水まわりまで！あらゆる古道具が揃う。
リッカルド・バルテル

個人宅から古いヨットまで、トータルでインテリアコーディネートしてくれる有名店。敷地内に自社の木工工房や修復工房を構えていて、そこには昔ながらの小さな町のような光景が広がる。ゲストのどんなニーズにもこたえられるのは腕利き職人がいるからこそなせる業。気になった古いものをオーダーメイドで使やすく改造してもらうことも可能。中庭や2階では、アンティークの食器を使った料理教室もリクエストに応じて行っている。

木工職人で絵描き、そんなオーナーの審美眼が光る。
ルカ・ワークショップ

セッラリ通りは古いもの探しに欠かせない通りのひとつ。オーナーは、工房内が暗く道端で作業する職人たちの仕事を観察しながら育った少年だった。古い木工製品の修復を手がけ、後に絵も描き始めたという。店内にはさまざまな時代のインテリア雑貨や、可愛い木をモチーフにした彼の絵画が見受けられる。扉を叩けば、古いものを愛し、自分の好きなものだけを取り扱っている彼が温かく迎えてくれる。

1. アンティークショップが点在するセッラリ通り。しかし敷居をまたいで興味があるものの説明を聞いてみると、どの店主も気さくに答えてくれる。良心的な価格のアイテムも多い。2. 1800年代後期の木馬350ユーロ 3. 家具、ランプ、鏡、燭台、マネキン、彫刻など1500年代から1970年代のものをオーナー夫婦で修復、組み合わせて制作している。



Luca Workshop ▶map P125 ①
Via dei Serragli 16, 50125 Firenze ☎338-2641020 営業9時～19時 ☎日、祝
カード: ①、②、③ http://lucaworkshop.blogspot.com

絵画の修復士が選んだ、古きよきアートピース。
ヴェッキエ・コーゼ・ディ・フランコ・マッチョ

絵画の修復士としてイタリア中を回っていたオーナーが1984年にオープン。絵画はアンティークの中でも価値の見極めが非常に難しいとされるが、オーナーのフランコの専門知識は確かなもの。ここでは価値のある小さな作品から、インテリアの主役になりそうな大きなものまで、アドバイスを受けながら購入できるのがうれしい。アートピース以外にムラーノガラスのオブジェも破格で見つかる。

Vecchie Cose di Franco Maccio ▶map P125 ④
Borgo degli Albizi 27, 50122 Firenze
☎368-464529
営業9時30分～13時、15時～19時30分
☎日、祝、8月に20日間
カード: ④、⑤、⑥

1. まさにガラクタ屋という雰囲気骨董屋。宝探し気分が味わえる。2. 1800年代の中国の化粧箱。当時ヨーロッパの貴族が使っていたと思われるもの。3. ひとつひとつの絵がいつの時代のもので、どういうストーリーを持つか、詳しく説明してくれる。価値がわかるオーナーがセレクトしたものだから安心して買い物できる。



クリスマスにキリスト降誕の情景を再現して飾る「プレゼビオ」に使われた人形。1800年代のもの。50ユーロ



「無名の画家が1930年代に描いたというロバの姿がなんと可愛らしい！」(塩見)。絵画(額縁込み) 150ユーロ



「ムラーノガラスの香水瓶。細部まで美しく作られているのが印象的です」(塩見)。1930年代のもの。50ユーロ



「長い棒の部分を持っては、高い場所でも掛け外しができる優れものなのです」(塩見)。木製のハンガ―10ユーロ



「こういったリネンは、使えば使うほどなじむのがいいですね」(塩見)。デッドストックのリネン類各25～50ユーロ

ファブリアーノは750年以上もの歴史を持つイタリアの老舗製紙会社。1960年代の封筒は10枚セットで3ユーロ

